

新年度を迎え、今月から「堀合先生に学ぶ」の連載が始まります。堀合先生の保育にふれる中から、先生の保育の心を十文字短大の立川多恵子先生と上垣内伸子先生が、毎月交代で報告して下さいます。保育の大先輩から、私も多くのことを学びたいと思っております。読者の皆様もどうぞお楽しみに。

「公教育は家庭教育にどこまで関与するか」第三回目は、佐野洋子さんの母親の立場からの報告です。三人のお子さんを保育園に預け、放送局のディレクターという超忙しいお仕事をごなされる佐野さんは、きつと保育園ととても「いい関係」ができています。私も二人の子どもを〇歳から保育園で育てていただいた親として、あの頃のエネルギーを懐かしく思い出しました。

昨年春より連載の土橋光子先生の「庭の番人」は、今回の続編で終わりとなります。五回にわたり、先生のお宅の庭の桜の四季にまつわる子ども達との心温ま

るエピソードを、どうもありがとうございました。

一年経つのが何と早く感じられるのでしょう。この間、娘の中学校入学を祝ったばかりと思っていたのに；もう次の一年生を迎える時となつてしまいました。

娘にとってこの一年は、大きな成長の年でした。通学区域が大幅に広がり、いろいろな地域や環境の友だちや先生方との出会いがありました。小学生の時には同じ学年の友だち同士のおつきあいが殆どでしたが、中学では、クラブ活動や奉仕活動を通して、上級生との交流も多くなり、先輩・後輩としてのつきあい方も学んでいるようです。

朝は父親より早く家を出て、夕方五時に帰宅、夜は翌日の予習、という娘のスケジュールに、母親としては、らくになつたというか、淋しくなつたというか；、複雑な気持ちです。

そろそろ、子離れが私の大きな課題となりそうです。

(K)

幼児の教育

第九十二巻 第四号
(一九九三年四月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

平成五年四月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一―

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五一―二一―

発売所 株式会社 フレーベル館

東京都千代田区神田小川町三一―

振替口座 東京九一―一九六四〇

電話〇三三三二九二七七七八一

●本誌御購読の御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

●万一、落丁・乱丁などございましたら、おとりかえいたします。